

# 『Kaggle で磨く 機械学習の実践力』

ISBN : 978-4-86594-326-9

## 読者フォローアップ情報

株式会社リックテレコム・書籍出版部

最終情報更新日：2022 年 9 月 29 日



### 2022 年 9 月 26 日付け情報

下記（2022 年 6 月 6 日付け情報）の問題は、Kaggle 環境の更新によって 2022/09/26 時点では解消されています。このため、pandas\_profiling ライブラリのバージョン更新は不要です。

### 2022 年 6 月 6 日付け情報

本書の刊行後、Kaggle 環境変更に伴い、以下の事象が発生しています。ライブラリのバージョン問題のため下記のような対応をお願いします。

#### 【症状】

- 第 4 章 4.3 節において、notebook 上で P.62 の「スクリプト 4-1 ライブラリの読み込み」を実行すると、pandas\_profiling ライブラリのインポートに失敗する。

#### 【対応策】

- 「import pandas\_profiling as pdp」を実行する前に、ライブラリのバージョンを 3.2.0 に上げてください。具体的には、notebook 起動後最初に「!pip install pandas\_profiling==3.2.0」を実行してください。エラーメッセージやワーニングが表示されますがインポートは成功します。

#### 【注意事項など】

- 「import pandas\_profiling as pdp」を先に実行してエラーが一度出してしまうと、その後にライブラリのアップデートをしても解消されないため、そうなってしまった場合は一度 notebook をリスタートしてから「!pip install pandas\_profiling==3.2.0」を実行してください。
- 本ライブラリは P.113 の「便利な集計ライブラリ pandas\_profiling」でのみ利用しています。このため、簡易の対応策としては、「import pandas\_profiling as pdp」をコメントアウト（あるいは削除）することで、残りのスクリプトは動くようになります。

- 本現象は、Kaggle 環境の更新に伴うものです。pandas\_profiling 自体のバージョンは執筆時と同じですが、依存関係にあるライブラリのバージョンが変わったことでインポートに失敗してしまいます。今後 Kaggle 環境の更新によって問題は解消される可能性があります。

※上記の不具合に対応するため、本書ダウンロードサイトの「サンプルスクリプト」zip を 2022 年 6 月 22 日付けにて更新しました。 以上